

## JR連合 第24回 ユースラリー開催



の河村事務局長よりご挨拶を頂き、関東地協の杉本議長による乾杯で開式しました。交流会では、単組やグループの絆を超えて、全国の仲間と親睦を深めました。

2日目は、グループ毎に分かれて、都内観光スポットやチェックポイント、鉄道遺跡を回るウォークラリーを開催し、5月としては異例の猛暑日となりましたが、体調不良の方を出すこともなく、全チーム無事ゴールすることが出来ました。先日の交流ゲームとウォークラリーの結果が発表され、スライドショーでは、これまでの思い出の写真が上映され、閉会式では、北労組の三星幹事より、民主化の大切さや仲間とのつながり等の話をされ、2日間の行程を終えました。今ユースラリーに参加し、改めて民主化闘争の大切さや仲間との輪を感じることが大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。今回学んだことを、今後に活かしていきたいと思えます。

5月25(26)日、JR連合青年・女性委員会主催の第24回ユースラリー「行くぜ、関東！」が都内において開催され、貨物鉄産労から2名、南関東ロジから3名、計3名が参加しました。尚、今回は関東地協が準備組織となり、これまでの準備等に携わって頂きました。1日目、東京駅近くの会議室に集合し、主催者代表の新倉議長及び関東地協代表の滝議長それぞれよりご挨拶があり、その後、8人程のグループに分かれ、2日間を共にする仲間同士で、自己紹介や様々なゲーム等を交えながら親睦を図りました。勉強会では、新倉議長より労働組合についての講義があり、労働組合の変遷や活動の意義、青年女性組合員として何が出来るのか等話をされました。講義後は、宿泊先であるホテルへ移動し、参加者全員による大交流会となり、始めに、ご来賓

### 大阪地方メーデー

第90回という節目を迎える今年の「大阪地方メーデー」は、4月27日大阪城公園 太陽の広場にて開催されました。メーデーの原点である「労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立」を再認識するとともに



に、民主主義の発展と恒久平和の希求に貢献していくことを確認しました。また、政治の劣化、貧困、格差の拡大した社会から、「働くことを軸とする安心社会」へ転換していくため、7月の参議院議員選挙で、働く者の声を国政に届け得る予定候補者の必勝をめざした運動の展開を確認しました。

### 東海地区本部静岡地区、出向者慰労会を開催

5月11日(土)、浜松市内にある、「うなぎの藤田」において出向者慰労会を開催し、出向者から那須田さん、新田さんの2名をお招きし、組合からは富田副委員長、和田執行委員、永井執行委員、小山西部分会会長が参加しました。冒頭挨拶では、富田副委員長より、最近の動向・組織・安全等について話があり、乾杯に入りました。終始穏やかに会話が進み、出向者からは、新人事賃金制度の疑問点や組織活動等について、多くの質問があり貴重な意見を聞くことができました。閉会の挨拶では、和田執行委員から、レクリエーション等を活発に行い、

他労組にアピールすると共に組合運動を盛り上げていくことをお約束し、最後に一本締めで終了しました。



うなぎは夏バテ予防に最適な食べ物と言われています。夏は目の前に迫っており、出向者の方を含め、組合員方々には、くれぐれもお体に気を付けて業務に励んで頂きたいと思えます。参加して下さった皆様ありがとうございました。

### いつまでもきれいな砂丘を 〜ウエルカメクリーン作戦!〜

5月12日(日)、静岡支部はボランティア活動の一環として、浜松市が主催する市天然記念物のアカウミガメが安全に産卵できる砂浜を確保するための「ウエルカメクリーン作戦」に組合員とその家族を含め6名で参加し、総勢では約300名が参加しました。日本三大砂丘の一つである中田島砂丘に集合し、市の職員から説明を受けゴミ拾いに入りました。砂浜に出ると、ペットボトルやビニール袋が散乱し、他にもタバコの吸い殻、釣り具用品等とアカウミガメの命を脅かすゴミが多く捨てられています。



た。1時間という限られた時間の作業となり、膨らみ、配布されたゴミ袋は大きく膨らみ、何にボイ捨て行為が環境に悪いかを考えさせられました。また、清掃中に手のひらサイズの小さなカメと遭遇し、必死に歩く姿、命に生きようと必死に見て、命の勇気や尊さを学ぶと共に少しの作業となりましたが、暑い中での汗をかき、清掃活動は無事終了しました。

中田島砂丘は、日本でも有数のアカウミガメの産卵地であり、毎年多くのアカウミガメが産まれます。そしてここからアメリカ西海岸やメキシコ付近を回り、約20年後に日本近海に戻ってくるそうです。ペットボトルの蓋やビニール袋等は、餌と間違え食べてしまい、アカウミガメの生死に関わっています。そしてゴミだけではなく、年々砂丘の海岸浸食が進み、産卵場所も減ってきていることからアカウミガメの生息数も減少し、絶滅してしまう恐れもあります。今回、私たちが子供の時から親しんできた大きな砂丘と、正常な自然の連鎖を未来の子供たちに残す活動に触れ、貴重な時間を過ごすことができました。これを機会にボランティア活動の意義を伝え、幅を広げていけるようにしていきたく思います。参加して下さった組合員、ご家族の皆様ありがとうございました。